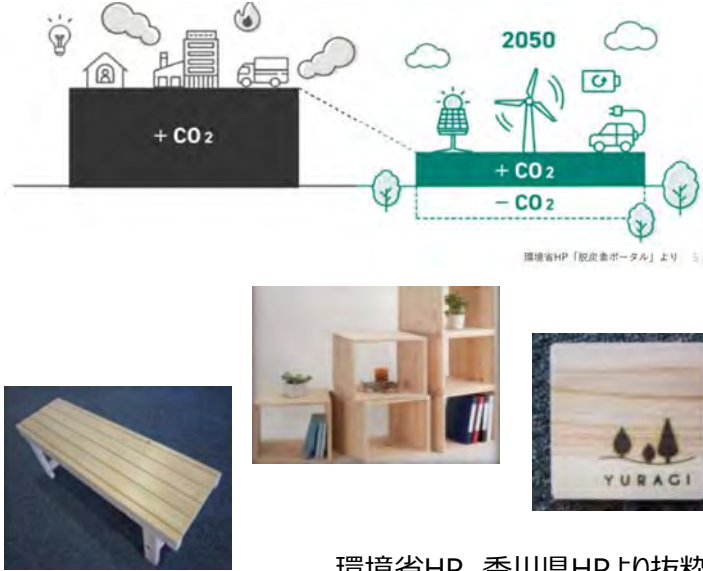


申請者	香川県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	495,545千円 (62,561千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内企業の成長と雇用創出を目指し、グリーン関連産業を育成。省エネ・再エネ設備投資の支援や技術開発の支援により、企業の収益増や競争力向上を図る。また、県産木材の供給体制整備や需要拡大に取り組み、県内林業の育成と就業者数の増加を促進。これにより、県内定着を促進し、経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の温暖な気候などの優位性を生かし、現代社会における最重要課題の一つに位置付けられる地球温暖化対策や脱炭素社会の実現に向け、産学金官が一体となり、グリーン関連産業の成長を促進し、事業規模の拡大、雇用創出に繋げていくことで、環境保全と経済社会活動の両立による地域経済づくりを推進していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 エネルギー・環境関連分野における支援 ・脱炭素化推進高機能材料開発等支援7,170千円 ・県民向け環境負荷低減製品消費の促進1,309千円 産学金官が連携した県内企業の省エネ化による成長支援 ・かがわゼロカーボンシフト支援事業15,725千円 ・ペロブスカイト太陽電池導入企業支援事業2,500千円 県内林業の育成 ・森林整備担い手対策支援事業13,059千円						
主なKPI	①開業した事業所数（+3,800件） ②新規林業就業者数（+70人） ③温室効果ガス排出量(▲1,385千t-CO2) ④県産木材の搬出量（+1982m³）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要：多面的で持続可能な農村・漁村づくり推進事業

継続

申請者	香川県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	867,617千円 (183,887千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業により、農水産業の高収益化と安定した生産体制を実現。最新技術の導入支援で就農希望者の不安を払拭し、人材確保と担い手不足の解消に貢献。また、農地の多面的機能回復や環境保全活動の担い手の育成を通じて、地域の意識醸成と持続可能な農村・漁村の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1 農水産業の担い手の確保と高付加価値化の推進 農産物等の育成技術の確立、民間への技術移転を図りつつ、有害鳥獣の捕獲推進のための施策に取り組むことで、高付加価値農水畜産物の安定した生産・供給体制を確立する。 2 持続可能な農村・漁村の保全体制の構築 農地の維持管理等に取り組む人材等の定着・拡大のための地域全体の環境保全に対する意識醸成及び、耕畜連携の観点から、飼料作物の供給体制の確保のための実証を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1・農産物の高付加価値化・安定生産体制の構築34,331千円 ・畜産物の高付加価値化推進18,221千円 ・魚介類の増養殖技術の実用化・高付加価値化の推進35,542千円 ・二ホンザル加害個体群対策11,191千円 2・農地の利活用促進事業38,650千円 ・環境保全活動への参加促進3,587千円 ・持続可能な地域内資源循環型農業の実現35,865千円 ・田んぼダム推進事業6,500千円						
主なKPI	①新規就農者数（+900人） ②新規漁業就業者数（+198人） ③多面的機能の維持・発揮活動を行う農用地面積（+900ha） ④環境保全活動や環境学習講座等への参加状況（+12%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	香川県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4～R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,132千円 (37,895千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ワーク・ライフ・バランスの実現には「働き方改革」が重要。職場環境のDX化や新たな働き方の創出が課題解決につながる。オンラインでの就職・採用プロセスも生産性向上と活発な学生・若者の活動を促進するとともに、情報発信とワークサポートかがわによる働き方改革の支援で県内企業の魅力向上を図る。また、本事業の実施により、移住者の増加が期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①デジタル化を中心とした企業の生産性向上 県内企業の生産性向上を図るため、技術的支援等を展開。 ②多様な働き方の推進・導入支援 job型雇用や副業、デジタルを取り入れた働き方など多様な働き方を選択できる新たな働き方改革を進めるため、県内企業向けにコンサルティング等を実施するとともに、サテライトオフィスやコワーキングスペース等を整備しようとする際の改修費や通信環境整備費等を補助。 ③採用・求職活動のデジタル化推進事業 地方というハンデキャップを逆に、就職・採用のデジタル化を進行することにより、県内はもとより県外からの就業、移住者を増加させるための情報発信やイベント実施経費。					  明日から実践できる！ 香川の中小企業における ワーク・ライフ・バランス 導入マニュアル 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①デジタル化を中心とした企業の生産性向上（委託料 等）19,054千円 ②多様な働き方の推進・導入支援（委託料 等）17,491千円 ③採用・求職活動のデジタル化推進事業（委託料）1,350千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「かがわ働き方改革推進宣言」登録企業数（+300社） ②製造業における就業者1人当たりの生産額（+250万円） ③ワークサポートかがわ職業紹介件数（+2,540件） ④県外からの移住者（+12,640人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要：瀬戸内海と文化資源の魅力を核とした観光推進事業

旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	429,757千円（137,259千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光振興分野
目的・効果	・瀬戸内海の価値や魅力、美しさをさらに高め、伝え広めることで、交流人口を早期回復させる（コロナ前水準） ・本県特有の観光・文化資源の魅力を推進し、観光事業等の高付加価値化を図る。 ・観光・文化関連産業の担い手・次世代人材育成を行い、持続的な観光事業等推進を実現する。 ・これら取組みを通して、活力ある地域社会を形成する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 瀬戸内海の価値や魅力、美しさをさらに高め、伝え広めるとともに、その後の瀬戸内海の恵みを生かして地域発展を目指す足がかりとし、各種の記念事業を展開することで、「持続可能な観光推進」の弾みとすまた、るもの。島嶼部の自然景観美や歴史や暮らしも活かしたクルーズ観光・島旅の強化や、観光客の継続的な来訪・長期滞在を促進する誘客プロモーション、地域のブランド化に繋がり地域に収益をもたらすための文化資源の魅力化の推進を行う。またそれらを支える次世代を中心とした人材育成に取り組む。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○持続可能な観光地域づくりを目指し、民間事業者等が実施する観光客の継続的な来訪や長期滞在を促進するなどの観光コンテンツの造成や誘客イベントに対して支援を行う 5,020千円 ○うどん県アート県ブランドプロモーション事業：香川県のブランドイメージを強化するため、デジタルマーケティングの手法を取り入れ、効果的な情報発信を行う 50,538千円 ○県外観光客等が島に訪れたいよう旅行需要を喚起し、瀬戸内国際芸術祭会期にあわせて継続的に島観光を推進する。48,593千円 ○「香川漆芸」の効果的なPRや、文化資源の活用・価値を高める取組み等を通して、地域の魅力アップや国内外への発信に取組む 31,108千円 ○将来を担う子どもに対して、瀬戸内海を題材とした文化芸術体験を通じて、文化芸術振興の担い手を育成するもの。 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①観光消費額（+250億円） ②県外観光客数（+3,200千人） ③かがわ文化芸術祭参加団体数〔累計〕（+438団体）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.kagawa.lg.jp/s-eisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要：地域との協働による地域資源を活用した交流人口拡大事業

旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	79,000千円 (6,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	地域の民間団体や地元自治体と協働し、琴林公園（津田の松原）のにぎわいを取り戻すために、瀬戸内海国立公園指定90周年を契機としたイベントの実施や、施設整備を行い、「地域のにぎわいづくりの1丁目1番地」となることを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度までに整備したパークレット等において、引き続き、マルシェ等のイベントを地元団体等と連携して実施するほか、「津田の松原琴林公園活性化マネージャー」による津田地区の情報発信や、経験・知識と行動力を生かした取組みにより地域の活性化につなげる。		完成したパークレット
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「津田の松原琴林公園活性化マネージャー」の配置 1,200千円 ・新たに整備した施設の利活用方法の企画等 ○地域活性化イベントの開催・情報発信 4,800千円 ・初めて瀬戸内国際芸術祭2025の会場となる「志度・津田エリア」において、令和6年度に整備したパークレット等を活用した地域活性化イベントの開催や、琴林公園の魅力を伝える映像制作およびインフルエンサーにより情報発信		  
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+150億円） ②県外観光客数（+3,202千人） ③琴林公園の来園者数（+26千人） ④琴林公園のイベント参加者数（増加数）（+15千人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要： 高松港周辺における魅力向上・にぎわい創出事業

継続

申請者	香川県					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	409,026千円 (164,443千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	瀬戸内国際芸術祭による交流人口の増加を県内各地に波及させるため、マラソンや伝統的工芸品のPR、地域密着型スポーツチームの振興等によるスポーツツーリズムの推進により本県の魅力発信を強化し、高松港を起点とした県全体の観光客等の増加につなげ、本県全体の経済発展、地域活性化に繋げていくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 瀬戸内国際芸術祭を契機として、訪れる観光客が従来から存在する県内各地の地域資源や伝統的工芸品等の魅力に気づき、イベント終了後も継続して来県してもらえるなど、高松港及びその周辺のにぎわいのみならず、各地域への波及効果を狙うため、県内各地を巡り波及性が高く広げやすいマラソンの実施や、県内外からの交流人口の増に寄与する地域密着型スポーツチームの振興等によるスポーツツーリズムの推進、文化芸術の観点で伝統的工芸品をPRしていくなど、本県の魅力を様々な角度から推し進めていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 県内各地の魅力向上・発信強化 164,443千円 1 かがわマラソン実施事業 (149,331千円) 2 利用者支援型魅力発信事業等 (5,112千円) 3 地域密着型スポーツチームの振興等によるスポーツツーリズムの推進 (10,000千円)						
主なKPI	①観光消費額 (+306億円) ②県外観光客数 (+4,800千人) ③外国人延宿泊者数 (+784千人) ④サンポート高松への5万トン級客船寄港回数 (+9回)					URL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：インバウンド需要等呼び込むための夜型観光コンテンツ事業

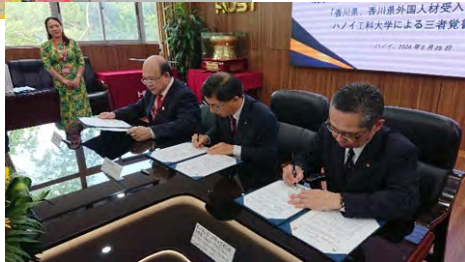
継続

申請者	香川県						初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,196,731千円 (430,591千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業				
目的・効果									
本県は、瀬戸内国際芸術祭など「アート県」としての特色ある取り組みを行ってきたが、その期間・地域は限られる中、インバウンド・宿泊客等の県内広域的な誘客や、県民等が各地域・日常の中でアートへ触れる機会を創出することは大きな課題となっていた。そこで、新たなイベント・宿泊施設や拡充するインフラ等を最大限に生かした先駆的取り組みを包括的に行うことにより、これらの課題を解消し、地域経済活性化の先進事例を目指す。									
事業概要・主な経費							 プロジェクションマッピングイメージ 		
【事業概要】 交通結節点・周遊観光の拠点であるサンポート高松地区で、地域の独自性が高く、国際的にも訴求力のある「夜型観光コンテンツ」や「高付加価値な観光コンテンツ」の創出や、欧米豪からの一層の誘客に向けた取り組みを行うことで、 ・滞在・宿泊の増加につなげ、サンポート高松地区周辺での消費拡大、さらには近隣の丸亀町商店街等への回遊拡大を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 ○新たな観光コンテンツづくり事業 ・県立アリーナ周辺での夜型観光推進事業 320,000千円 ・瀬戸内クルーズ事業 10,900千円 ・アートを巡るツアー事業 6,400千円 ・スーパーヨット誘致推進事業 7,860千円 ・「瀬戸の玄関口」から始まる香川ぐるっと周遊プロジェクト事業 33,500千円 ○欧米豪等インバウンド誘客促進事業 ・欧米豪等インセンティブ向けツアー造成事業 11,500千円 ・戦略的調査にもとづくインバウンド需要対応事業 2,500千円 ○地域活性化パブリックアート事業 ・描画制作・プロジェクションマッピング実施委託費 2,931千円 ○県公式観光サイト全面リニューアル事業 35,000千円							URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+354億円：R8年度に上方修正) ②外国人平均宿泊数 (+0.63泊) ③外国人延宿泊者数 (+555千人) ④文化芸術の活用により、住民がふるさとに誇りを持ち、元気な地域の創造につながっていると考える県民の割合 (+4.4%)								

事業概要：需要・消費拡大による"儲かる"農水産業実現事業

継続

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,164,358千円 (425,366千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「香川ならではの」の多種多様で高品質な農水産物について、国内外を問わず、需要・消費拡大に資する取組みを行うことで、農水産業所得の向上と経営の発展を図り、本県の農水産業が将来に向けて安定的かつ持続的に発展していくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農業では、年間日照時間が長く温暖な瀬戸内の恵まれた気候風土の下で、多種多様で高品質な農産物を生産しているとともに、水産業では、世界で初めてハマチ養殖に成功するなど、穏やかな瀬戸内海の気候を活かした漁業に取り組んでいるところ、県特産のオリーブの採油後の果実や葉を給与して飼養した「オリーブ牛、オリーブ豚・オリーブ豚、オリーブ地鶏」、「オリーブハマチ、オリーブマダイ、オリーブサーモン」の生産振興及び販売拡大への取り組みや、品質の高い県産の果物・野菜・花きを「さぬき讃（さん）フルーツ」、「さぬき讃ベジタブル」、「さぬき讃フラワー」として推奨する制度を設けて、消費と生産の拡大を図っているところである。 これら世界に誇れる「香川ならではの」の多種多様で高品質な農水産物について、国内外を問わず需要・消費拡大に資する取組みを行う						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○消費拡大事業 ・県内農林漁業者と実需者のマッチングの推進 6,500千円 ・実消費の創出 370,490千円 ○需要拡大事業 ・販売体制の強化 20,021千円 ・プロモーションの推進 24,602千円 ○供給体制強化事業 ・供給体制の強化 3,753千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ブランド農産物の生産量 （+600トン） ②県オリジナル品種の作付面積（野菜、果樹、花き、オリーブ）（+13ha） ③新規就農者数 （+450人） ④新規漁業就業者数 （+106人） ⑤認定農業者である農業法人数 （+30法人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	335,204千円 (107,591千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	海外大学等とのMOU締結により外国人材の受入を促進するとともに、県内企業の外国人材受入体制整備を支援することで「外国人材に選ばれる香川県」を目指し、本県産業を支える人材を安定的に確保する。 外国人材の受入促進と共生を推進することで、地域に新たな賑わいを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 （１）外国人材が香川県を選ぶインセンティブとなるようMOU締結に基づいた各種取り組み等を行うとともに、現地にて県の魅力を発信し県内就職を促進する。 （２）外国人材の受入が進んでいない業種に向け制度や事例を紹介するセミナーを開催するとともに、まずはオンラインによる外国人材との交流会を開催する。 （３）学校においても外国人住民の子どもが安心して過ごせるよう支援員を派遣し、学外の日本語教室と合わせその生活をサポートする。また、国際交流会館をリニューアルし交流機能の拡充を図ることで、今後増加する外国人材との交流や多文化共生の情報発信の拠点とする。国際交流会館には従来外国人相談窓口を設置しており、より多くの外国人住民の問題解決につながるよう発信を強化する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新たな海外国との連携・来県促進 ・海外大学等との連携 41,461千円 ○海外人材の受入支援 ・企業の外国人材受入等支援（補助金）25,000千円 ・企業向けセミナー等の実施 2,790千円 ○海外人材の定着支援 ・企業の人材育成支援（補助金）3,000千円 ・外国人住民のコミュニケーション支援 6,000千円 ・「外国人防犯・交通アドバイザー」による防犯・交通安全教室 29,340千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人労働者数 (+10,895人) ②外国人労働人材関係相談窓口での相談件数 (+320件) ③かがわ外国人相談支援センターにおける相談支援件数 (+1,780人) ④香川国際交流会館利用者数 (+448,000人) ⑤製造業における就業者1人当たりの生産額 (+200万円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要：豊かな海づくり推進プロジェクト

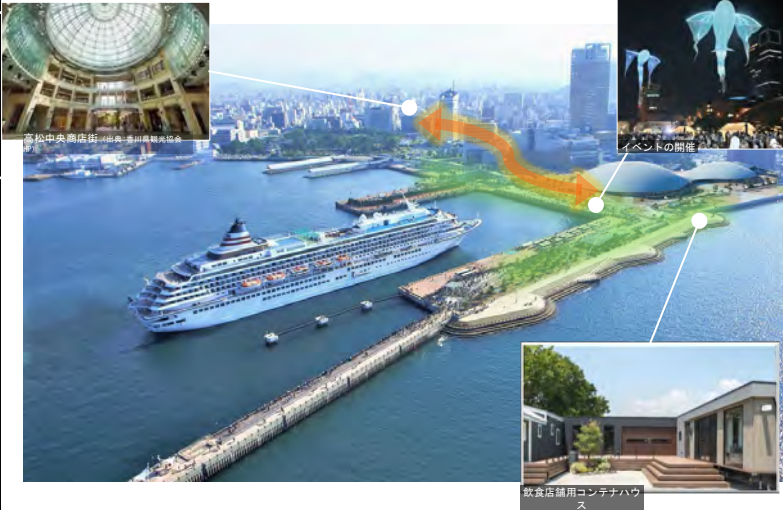
継続

申請者	香川県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	544,106千円 (141,452千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓		
目的・効果	気候変動等による海域環境の変化により漁業の生産量が激減していることから、漁場の生産力を向上させるための取組みを行うことにより、生産基盤である「豊かな海」を再生し、持続可能な水産業を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 水産資源の早期回復に向け、不漁原因の解明のための餌生物の調査を実施するとともに、藻場造成や海底の底質改善のための漁場整備、漁場環境の改善に向けた活動、食害生物対策、栄養塩類の管理など、漁業関係者や市町、県民と一体となって豊かな海を取り戻すための総合的な取組みを行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・餌となる底生生物の生物量調査 4,560千円 ・効率的な藻場造成・保全に向けた調査研究 4,370千円 ・海域環境の改善に向けた活動の支援 16,300千円 ・水産資源の食害生物対策 7,621千円 ・栄養塩類の管理 8,601千円 ○インフラ整備事業 ・魚介類の産卵や育成場となる藻場の整備 50,000千円 ・貧酸素対策のためのカキ殻敷設による底質改善 50,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①漁船1隻あたりの海面漁業生産量（イワシ類を除く）（+0.2トン） ②藻場造成面積（+13ha） ③クロノリ1柵あたりの生産枚数（+183枚/柵）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

申請者	香川県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,837,510千円 (240,215千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	県民ホールを改修・整備し、文化芸術を通じた地域住民の交流の場を生み出すことで、地域活力の向上を目指す。 県民ホールを拠点として、文化芸術を観光やまちづくり、国際交流といった幅広い分野に繋げていくことで、経済活動との好循環を生む。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 香川県県民ホールのハード整備を行い、多世代交流が生まれるようなソフト事業を企画・運営していくことで、県民の文化芸術を表現する場及び文化芸術に接する機会を確保し、多世代にわたる充実した地域社会を維持していく。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 文化芸術を通じた地域住民の交流の場となる県民ホールを改修・整備 ・小ホール棟 一般照明LED化実施設計 87,416千円 ・小ホール棟 バリアフリー化実施設計 4,438千円 ・小ホール棟舞台照明・多目的大会議室LED化 148,361千円 地域住民の交流の場となる県民ホールにおいて、若い世代から高齢者に至るまで参加可能な交流事業を行う。							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+185億円） ②文化芸術が地域活性化に繋がっていると考える県民の割合（+10%） ③文化芸術を鑑賞している県民の割合（+15%） ④文化芸術を行っている県民の割合（+7.5%） ⑤1年以内に県民ホールに行った県民の割合（+15%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要：サンポート高松地区周遊促進事業事業

継続

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	285,000千円 (130,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	近年、JR高松駅ビル、大学、県立アリーナが整備され、今後、国内2箇所目となるマンダリンオリエンタルホテルの開業が予定されているほか、クルーズ岸壁を現在の5万トン級から11万トン級のクルーズ客船対応とする整備を進めており、令和9年度に完了する予定である。また、国内外から高い注目を集めている、瀬戸内海の島々に広がる現代アートの祭典である瀬戸内国際芸術祭の開催時には離島との海上交通の要衝の拠点となっている。 このような観光需要の高まりの中、クルーズ客船寄港時のバスやタクシーなどの二次交通不足による消費機会の喪失、交通渋滞によるクルーズ旅客等の満足度低下などの懸念があり、オーバーツーリズムへの対応が課題となっている。そのため、港内の周遊によるピークシフトを図るとともに、市街地への周遊性を高めることで、オーバーツーリズムを解消し、増加する観光需要を確実に取り込む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 滞在空間及び周遊ルートを整備する。併せて市街地に向けての新たなまちなか周遊バスの運行や歩行空間の整備に向けた実証実験を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 まちなか周遊バスの新規運行に係る実証実験 ・追加実証実験及び実証実験を受けての検討（人件費、市場調査経費、車両整備経費、運航費、周知広報費、委託費）20,000千円 高松港湾緑地等におけるイベント企画運営 ・イベント企画運営（人件費、事務経費（消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、広告宣伝費等））10,000千円 ○拠点整備事業 高松港イベントスペース整備 ・造成工事 50,000千円 高松港イベント実施用モバイルコンテナ設置 ・モバイルコンテナ購入及び設置 50,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①クルーズ旅客観光消費額（+70,897千円） ②クルーズ客船寄港回数（+17回） ③クルーズ旅客数（+8,627人） ④香川県訪日外国人消費額（36億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/wbymjf201005102310.html

事業概要：ふるさと香川の魅力を再認識したうえで、人材確保、魅力ある企業創出による「強い経済」実現事業

新規

申請者	香川県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	612,171千円 (204,057千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・少子高齢化の現状を打破し、本県経済の持続的な発展を目指すため、更なる若者に魅力のある雇用の場を創出するとともに、県外への人材流出を食い止めるため、教育現場へ必要な施策を実施するなどにより、強い県経済を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 行政と関係機関が共通認識を持ち、教育機関における取組を支援することで、県内に人材を確保、また、高校生や大学生などが、県内の優れたものづくり企業や技術を知る機会の創出に取り組むとともに、魅力ある企業として、スタートアップのロールモデル創出に向けた取組みを支援することで、県全体の経済、産業を押し上げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 県内人材確保 ・高校の魅力ある取組み支援 47,869千円 ・県内産業技術力発信事業 700千円 ・専門学校生等定着促進(補助金)30,000千円 ・大学生等定着促進(補助金等)81,622千円 ・インターンシップ導入等支援事業(委託料等) 8,500千円 魅力ある企業創出 ・スタートアップ販路拡大支援 35,366千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者（15歳～39歳）の社会増減（+761人） ②県の就職支援策における就職件数〔累計〕（+2,400件） ③県内専修学校各種学校への入学者数各年減少率（▲7.5%以内） ④県内専修学校各種学校卒業者の県内就職率（+1.6%） ⑤県内大学卒業生の県内就職率（+8.25%） ⑥開業した事業所数（+2,280件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月頃公表予定

申請者	香川県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,231,910千円 (549,970千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	香川県の地域資源である農水産業の更なる付加価値向上や販路開拓等を支援し、地域経済の拡大を目指すべく、「地場産業支援関連事業」を選択し、申請するもの。申請の交付対象事業は、農家の収益性向上に直接つながる施策として、「1 気候変動に対応した生産振興」、それに関連する施策として、「2 農水産業従事者の確保・育成」、また、環境整備を通じて生産性向上につながる施策として、「3 農地集積・集約化、管理体制強化」といった一連の施策を総合的に推進することで、香川が誇る地場産業である農畜水産業の支援に大きく資すると考える。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和8年度を始期とする、農業・農村基本計画及び水産業基本計画を策定を進めており、産業としての活力向上に向けて「儲かる！魅力と未来ある農業の実現」「持続可能な漁業経営と所得向上の実現」という目標を掲げ、上記のとおり取り組んでいく。						かがわ農畜水産業の推進 農畜水産業の未来を拓き、次世代へ継承するため 「攻め」・「守り」の両面から施策を展開 ➤ 攻め（儲かる！魅力と未来ある農畜水産業の実現） ➤ 守り（地域の農畜水産業の推進） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○気候変動に対応した生産振興 ・園芸産地気候変動対応支援事業 20,000千円 ・水稻生産性等向上対策事業 35,000千円 ○農水産業従事者の確保・育成 ・ミドルエイジ新規就農支援事業 16,000千円 ・浜デビュー応援事業 2,250千円 ○農地集積・集約化、管理体制強化 ・地域計画実現化総合対策事業 80,000千円 ・水土里ビジョン策定支援事業 33,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+120億円） ②ぶり類養殖産出額（+426百万円） ③地域計画で将来の担い手が位置づけられた農地の割合（+21%） ④新たな認定農業者数（+240経営体） ⑤水土里ビジョンを策定した土地改良区数（+36区）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月頃公表予定

事業概要：かがわ共創イノベーション・プラットフォーム構築事業

新規

申請者	香川県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	570,935千円 (274,044千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少社会に伴い複雑化する地域課題に対し、組織の枠を超えたオープンイノベーションの土壌形成が急務である。本事業では、オープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」と官民共創プラットフォーム「かがわDXLab」の資産を活用し、人材育成から社会実装までをシームレスにつなぐ「香川県独自の共創イノベーション・プラットフォーム」を、地域産業クラスターとして構築する。具体的には、ビジネス創出拠点の整備とデジタルマッチングの最適化により、交流から実践・社会実装へと活動を昇華させる。これにより、域内外からの挑戦者や戦略的企業の参画を促し、地域課題の解決と経済活性化が循環する、持続可能で活力ある地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域産業クラスターの核となるビジネス創出拠点となる「Setouchi-i-Base」の貸しオフィスを新たに整備する。会員ニーズ・スキルを可視化するデジタルマッチング支援システムの構築や、企業・大学連携の講座やAI活用講座の新設により、デジタル人材を育成・供給する体制を強化する。あわせて、アイデア創出から社会実装までを拠点間連携によりシームレスに伴走支援する体制を構築し、持続的な共創イノベーション・プラットフォームの構築を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・共創マッチングの加速化と人材供給の強化に関する事業 100,803千円 Webサイト制作・運用費、人材育成講座開催経費等 ・社会実装に向けた支援体制の強化に関する事業 58,041千円 拠点運営費、外部人材報酬等 ○拠点整備事業 ・「ビジネス創出拠点（貸しオフィス）」の整備等 115,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本プラットフォームの共創活動を通じた社会実装件数（+45件） ②共創活動を支える担い手創出件数（+255件） ③ビジネスマッチング件数（+990件） ④拠点会員件数（+59件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月頃公表予定

事業概要：高松空港周辺フラワーツーリズムにぎわい創出事業

新規

申請者	香川県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,263,000千円 (183,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	さぬきフラワーガーデンやさぬき空港公園において花をテーマにコンテンツを強化し、空港や周辺施設から訪日外国人旅行者など多様な人々が循環するような動線の整備を行うことで、花き産業・文化の振興による経済の拡大と、「フラワーツーリズム」としてにぎわいを醸成することで交流人口の増加、県民においては花のある豊かな暮らしを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○さぬきフラワーガーデン温室エリアの再整備のよる花きの産業・文化振興拠点としての機能強化 ○花をテーマとしたさぬき空港公園とさぬきフラワーガーデンの一体的な整備によるエリアの魅力向上 ○空港とその周辺施設からの動線強化による人の循環とにぎわいづくり ○幅広い世代を対象とした園芸教室やキッズラバなどのイベント開催による花き産業に関する情報発信の強化						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・温室エリアの基本設計 60,407千円 ・周辺施設間の動線整備（池の柵） 5,150千円 ・フォトジェニックな花き植栽、修景等 100,000千円 ・来園者の快適性向上等を目的とした備品整備 4,021千円 ○ソフト事業 ・イベント経費等 9,600千円 ・「学びの場」として視聴覚装置の整備 4,422千円						
主なKPI	①主要花きの生産額（＋5億円） ②さぬき讃フラワーの認知度（＋16%） ③県オリジナル品種の作付面積（＋48ha） ④さぬきフラワーガーデンの来園者数（＋1.3万人） ⑤周辺3施設の来園者・利用者数（＋12万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月頃公表予定

申請者	香川県高松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,207千円 (6,069千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	香川県内の事業者だけでなく、高松市東京事務所やWeWork拠点を活用しながら、大都市圏の民間事業者との間で、相互に、資源やアイデア、ノウハウ、技術等を持ち寄って、地域課題の解決を図る。 多くの人が集まり、まちが元気になり、活力にあふれる、その好循環を繰り返すまちとなることで、「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 業務委託契約による事業の実施や、協定締結による連携事業の実施という、これまでの官民連携の枠組みを超えて、本市と事業者が相互に、資源やアイデア、ノウハウ、技術等を持ち寄って、地域課題の解決に向けた「官民共創」を推進するもの。 また、官民共創マッチングのノウハウを蓄積するとともに、本市一般歳出の縮減も図り、人口減少、少子・超高齢社会の進行に対応した財政運営を目指すもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・官民共創マッチング事業 ⇒本市の抱える地域課題の洗い出しを行い、事業者に提示し、協議を経て、課題解決を目指すとともに、事業プロセスに本市職員が積極的に関わることで、官民共創のノウハウを蓄積するもの。 （内訳）：委託料（課題の洗い出し・言語化・課題の情報発信、官民共創マッチングノウハウ蓄積に係る人件費）4,986千円、プロポーザル審査委員報酬14千円 ・WeWorkや都心のイベントスペース等を活用したビジネス交流会の実施 （内訳）：市長トップセールス旅費及び随行者旅費（東京）331千円 都内でのビジネス交流会開催経費440千円 高松市内でのビジネス交流会開催経費298千円						
主なKPI	①地域ブランド調査における「魅力度」ランキングの上昇（+41位） ②官民共創事業数の増加（+30件） ③WeWorkイベントスペースや都心イベントスペース等を活用したビジネス交流会の実施件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/johokokai/fuzoku/fuzoku/ruiji/seisaku/kikaku_20240618.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

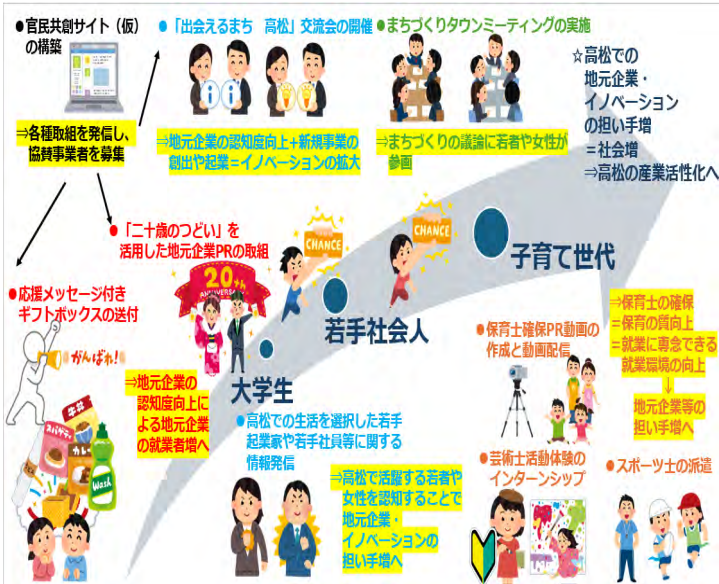
事業概要：高松の魅力発信による若年層UJIターン促進・関係人口創出事業

継続

申請者	香川県高松市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,635千円 (17,815千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内高校生の県外進学率が高く、県外進学者のUターン就職率が低い点を踏まえ、高松暮らしや地域資源等の魅力発信を行うことで、県外進学者等のUJIターンの促進や、大都市圏若年層の関係人口を創出・拡大。 あわせて、高松が誇る地域資源等のマーケティング調査の実施と、調査結果を踏まえた観光振興ビジョン（仮）の策定により、大都市圏での高松認知度向上を図るとともに、上記の情報発信を意義付けし、発信内容・手法を強化。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ①若年層へのUJIターン就職働き掛けによる定住促進 ⇒大都市圏に進学した香川県出身学生等を対象に、学生生活の早い段階から、地元企業の情報や地元で得られるライフスタイル等を直接説明 ②短期就労型関係人口創出・拡大 ⇒大都市圏の主に若年層を対象に、高松市内での短期就労、観光、地域住民や団体との交流を体験していただくことで、関係人口を創出し、拡大させる。 ③高松市観光振興ビジョン（仮）の策定 ⇒地域資源を掘り起こし、観光資源として磨き上げる方策等を定める観光振興ビジョン（仮）を、学識経験者や地域の観光関連事業者等の有識者などとともに、策定するもの						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①委託料5,500千円（関西圏大学近隣のキャリア形成支援カフェでのワークショップ運営支援4950千円、キャリア形成支援カフェ貸切利用550千円） ②委託料4,986千円（短期就労受入れ事業者・地域の中間支援団体・短期就労希望者支援2,423千円、短期就労者募集HP・SNS運用2,013千円他）プロポーザル外部審査委員報酬14千円 ③委託料7,301千円（現状分析・施策検討・プラン立案支援3,451千円、ビジョン策定委員会・作業部会運営支援2,420千円、ビジョンデザイン・印刷990千円他）、プロポーザル外部審査委員報酬14千円						
主なKPI	①社会増（転入－転出）（+3,000人） ②UJIターンワークショップ参加学生（+250人） ③短期就労型関係人口創出・拡大事業への県外参加者数（+60人） ④高松暮らし魅力発信サイト（仮）PV数（+156,695回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/johokokai/fuzoku/fuzoku/ruiji/seisaku/kikaku_u_20240618.html

事業概要：若者や女性が活躍する環境づくりと地元定着による産業活性化事業

新規

申請者	香川県高松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	76,394千円 (25,872千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果							
進学や就職を契機とした若者や女性の県外流出に対応するため、若者や女性と地元企業との接点を増やして認知度向上を図る取組、新規事業の創出や起業に向けた交流会の実施、保育士の確保や保育の質向上による就業環境の向上を図る取組を通して、若者や女性が活躍する環境を整備し、高松定着を促すことで、地元産業の活性化を図るもの。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者や女性が活躍する環境の整備、若者や女性の地元定着の促進に向けて、地元企業の認知度向上を図る取組、交流会やまちづくりタウンミーティング、高松での生活を選択した若者に関する情報発信、保育士の確保や保育の質向上を図る取組を実施。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①各種取組を発信し、地元企業の協賛を募集する官民共創サイト（仮）の構築 971千円 ②「出会えるまち 高松」交流会 3,006千円 ③県外進学者に対する、地元のニュース情報の配信及び地元企業からの応援メッセージ付きギフトボックスの送付 3,300千円 ④「二十歳のつどい」を活用した、若者に対する地元企業によるPRの取組 8,339千円 ⑤若者世代と市長が今後のまちづくりについて意見交換を行うまちづくりタウンミーティングの実施 213千円 ⑥保育士確保PR動画の作成と就職・転職支援プラットフォーム等での動画の配信 3,355千円 ⑦保育施設での芸術士活動体験インターンシップの実施やスポーツ士の派遣 6,688千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増（+3,000人） ②「出会えるまち 高松」交流会参加者数（+180人） ③県外進学者に対する、地元ニュース情報の配信及び地元企業からの応援メッセージ付きギフトボックス送付の取組の会員登録者数（+3,000人） ④二十歳のつどい参加率（参加者数／対象者数）（+6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/johokokai/fuzoku/fuzoku/ruiji/seisaku/kiaku_20240618.html

事業概要：まちを彩り人と人をつなぐナイトタイムエコノミー推進事業

新規

申請者	香川県高松市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	257,696千円 (61,832千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	中心市街地のライトアップやイルミネーションによる夜型観光コンテンツを造成し、都市のイメージアップや文化的魅力を創造するとともに、宿泊を伴う長期滞在を促し、観光消費の拡大を図ることで、地域全体を活性化させることを目的とする。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地ライトアップ、イルミネーション化による夜型の観光コンテンツを各所で整備し、観光客に新しい価値を提供するとともに、来訪を検討している旅行者及び来訪した旅行者に対し、本市の魅力を発信することにより、来訪の決定や来訪時の長期滞在を促すものである。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 中心市街地ライトアップ、イルミネーション化事業 玉藻公園ライトアップ事業 7,498千円 サンポートエリアイルミネーション化事業 (クリスマスマーケット負担金) 37,800千円 観光プロモーション事業 SNSによるターゲティング広告 4,818千円 観光素材動画制作 1,716千円 観光・情報案内板 (中央公園) 10,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①主要観光地の来訪者数 (+ 3 万人／年) ②中心市街地の宿泊者数 (+ 3 0 千人／年) ③高松市公式観光サイトPV数 (+ 1 2 1 万人／年) ④広告配信クリック率 (0%) ⑤中心市街地歩行者通行量 (+ 3 千人／日)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	「高松市公式観光サイトExperience Takamatsu」 https://www.art-takamatsu.com/jp/

事業概要：発信力のある持続可能な地域産業拠点づくり事業

新規

申請者	香川県高松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	81,668千円 (60,843千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	塩江地域において、道の駅を持続可能で選ばれる地域産業拠点として再構築し、民間活力を活用した商品やサービスの提供を促進することで、地域産業の付加価値向上や地域産品の販路拡大を図り、地域経済の維持・拡大を目指す。 あわせて、官民連携により道の駅や地域におけるイベント情報を一体的に発信し、回遊行動を促進することで誘客力の向上を図り、来訪者による消費機会の拡大に繋げ、持続可能な活力ある地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 塩江地域において、持続可能な選ばれる地域産業拠点としての道の駅整備に向けて、従来の情報発信から脱却した戦略的な情報発信を進め、人々に認知されやすくすることで、将来的な観光消費額の増加を図る。そのため、PFI事業の根幹となる事業者募集の仕様書を作成する準備段階から情報発信の視点を取り入れたアドバイザー業務を実施するとともに、本市が保有する都市計画、道路、建物等のベース・レジストリを搭載した地理空間データ連携基盤を活用してアプリケーション等を構築し、ハード整備とデジタル戦略を両輪で推進する、新しい道の駅整備に取り組む。本取組は、将来の道の駅整備及び供用開始後の運営効果を高めるため、整備前の段階から実施する前段階の取組として位置付けるものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 塩江道の駅エリア整備事業における地域振興施設実施事業者募集選定アドバイザー業務（委託料）34,969千円 イベント情報アプリケーション構築（委託料）8,580千円 ホームページ構築（委託料）17,294千円						
主なKPI	①道の駅エリアの来訪者数（+7,100人） ②アドバイザー業務による事業者選定進捗率（+100%） ③イベント情報アプリに掲載された官民の情報数（+610件） ④ホームページのアクセス数（+732,000件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/johokoka_i/fuzoku/fuzoku/ruiji/seisaku/kikaku_20240618.html

事業概要：高松の輝く未来を拓く地域産業活性化プロジェクト

新規

申請者	香川県高松市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	114,898千円 (34,213千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	成長促進や脱炭素経営等に取り組む、意欲ある中小企業等（伝統工芸品産業含む）への積極的な支援により、地域経済を活性化させ、さらに、創業やスタートアップの成長を後押しすることで、産業の高度化や雇用機会の拡大を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 労働力不足に直面する中小企業等を対象に、従業員のスキルアップや高度外国人材の活用、研究開発を支援する。また、創業者やスタートアップの成長支援のほか、特産品や伝統工芸品の販路拡大、担い手育成を推進する。さらに、サプライチェーンにおける産業競争力の強化に向けて、脱炭素経営への取組を支援する。						目指す将来像	
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 中小企業等成長促進事業 ・人材育成事業補助金 800千円 ・高度外国人材支援補助金 6,000千円 ・研究開発補助金（地域課題解決型） 1,500千円 ● 中小企業脱炭素経営促進事業 ・脱炭素経営セミナーの開催 300千円 ・CO2排出量算定補助金 2,250千円 ・脱炭素ファイナンス利用補助金 3,750千円 ・中小企業版SBT認定取得補助金 8,000千円 ● 創業・スタートアップ促進事業 ・創業機運醸成イベント応援補助金 500千円 ・J-Startupインターンシップ支援助成金 1,000千円 ・J-Startup新市場販路開拓補助金 900千円 ● 特産品・伝統的ものづくりブランド化推進事業 ・伝統的ものづくり後継者育成助成金 3,600千円 ・特産品・伝統的ものづくり販売促進事業補助金 1,500千円 ・首都圏での特産品・伝統工芸品PR事業負担金 1,713千円 ● 高松盆栽産地ブランド確立事業 ・盆栽次世代人材育成事業 2,400千円							
主なKPI	①法人市民税額(法人税割のみ)(+2,440百万円) ②経営状況が安定している事業者の数(法人市民税法事税割の対象法人数)(+155社) ③「J-Startup」の選定企業数(市内)(+3件) ④民生(業務)部門の温室効果ガス排出量の削減率(2013年度比)(▲4.2%)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/johokokokai/fuzoku/fuzoku/ruiji/seisaku/kikaku_20240618.html

事業概要：中心市街地周遊観光促進プロジェクト

継続

申請者	香川県、香川県丸亀市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,010,283千円（2,755,983千円）
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・市の観光施設である丸亀城の前面に位置する大手町地区において、物産館機能を持つ賑わい拠点施設の整備、隣接する公園の再整備、市道の歩行者空間化を行い、観光客の滞在性の向上と市民が中心市街地を訪れたいとなる環境整備を行う。 ・丸亀駅原田線の無電柱化を実施し、都市景観の向上や防災機能の強化を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大手町地区4街区内に物産館機能を持つ賑わい拠点施設を整備する。当施設には物産館機能の他、本市を紹介する展示・体験施設、飲食提供施設などの設置を検討している。また、拠点施設の整備とあわせて、隣接する公園の再整備や市道の歩行者空間化を実施する。 本市の中心市街地は、歴史的経緯より、優れた拠点性や生活利便性を備えていることから、この同線の一つでもある（都）丸亀駅原田線の無電柱化をあわせて実施する。無電柱化により都市景観の向上や防災機能の強化を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 物産館機能を持つ賑わい拠点施設を新設 ・工事費 546,000千円 ○インフラ整備事業経費 丸亀駅原田線（城西工区）の無電柱化 ・事業費 95,500千円 市道大手町通町線、大手町東西2号線の歩行者空間化 ・工事費 455,972千円 市民ひろば再整備 ・工事費 1,658,511千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①商店街の空き店舗率（▲2.4%） ②市民ひろばでの年間イベント開催件数（+13件） ③拠点施設年間利用者数（+10,000人） ④拠点施設内物産館年間売上高（+10,000千円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.marugame.lg.jp/site/otecho/44308.html

事業概要：緑を活用した人流創出事業「グリノベ（グリーンリノベーション）」

継続

申請者	香川県坂出市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	365,500千円 (163,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	これまでの本市に対するイメージを「働くまち」から「住みたいまち」へ転換すべく、主要幹線沿いにある坂出緩衝緑地を地域活性化の拠点として再整備を行い、本市の魅力化につなげる。 本市中心市街地への人流が創出され、地域経済の活性化を図ることができ、本市の魅力化・本市への交流人口の増加を実現できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 坂出緩衝緑地を含めた本市中心市街地を再整備するPFI事業と連携しながら、同緑地において地域の物産や情報を発信する拠点施設を整備する。 同緑地の運営者のノウハウなどを活かしてエリアコンセプトを設定した上で、施設内出店事業者のリーシングを行い、地域の活性化、本市の魅力化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 より魅力的な公園整備・イベント運営につなげられる体制を構築するため、通信会社が保有するビッグデータを活用する。 ・ビッグデータの活用：1,500千円 ○拠点整備事業 P F I 事業によって実施される同緑地の再整備との連携しながら地域の物産や情報を発信する拠点施設を整備することで、より効果的に本市の魅力向上につなげる。 ・拠点施設整備 工事費：162,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①賑わい施設における交流人口（+10,400人） ②同施設の売り上げ（+20.8百万円） ③坂出緩衝緑地への来園者数（+42,000人） ④同緑地でのイベント開催回数（+14回）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakaide.lg.jp/soshiki/kouminrenkei/tyuusinsigaichikasseika.html

事業概要：新「道の駅」かんおんじ（仮称）整備事業

継続

申請者	香川県観音寺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,672,031千円 (793,736千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅を新たに整備し、特産品の開発や積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図り地域経済の活性化をめざす。 ・自然災害発生時において、道の駅が四国全域の広域的な防災拠点としての役割を担えるよう整備し、安全安心な暮らしに寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域産品や名所旧跡等の多くの資源のポテンシャルを十分に発揮できていないことに加え、人口減少に起因する影響を縮小・緩和するため、産地直売所、物販、レストラン等の機能を備えた新たな「道の駅」を整備し、合わせて地域産品を使用した新商品の開発等を進める。また、アクセス向上のため道路新設事業も実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 地域資源の提案や市内事業者に向けた講義・ワークショップによるブランドマネジメント支援を通じて、より付加価値の高い商品開発を行う。 ・地域資源調査活用事業（委託料）7,234千円 ○拠点整備事業 道の駅の基本設計等を実施 ・基本設計の策定（委託料）23,380千円 ・実施設計の策定（委託料）37,895千円 ・造成設計の策定（委託料）44,000千円 ○インフラ整備事業 道の駅へのアクセスを向上させるための道路新設事業 ・橋梁詳細設計及び道路補強土壁等詳細設計（委託料）100,561千円 ・市道部分用地取得（補償費）569,151千円 ・地質調査費（委託料）11,515千円						
主なKPI	①一人当たり平均観光消費額（+1,936円） ②年間来場者数（+85万人） ③年間売上高（+8億2,400万円）					URL	https://www.city.kanonji.kagawa.jp/soshiki/54/59409.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：観音寺市にぎわい創出事業

継続

申請者	香川県観音寺市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,625千円 (11,195千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少や少子高齢化に歯止めが掛からず、このまま何もしなければ当市の人口は、2060年には現在の約半分まで減少することが予想されるため、主原因である若い世代の流出阻止、獲得に向けてこれら若い世代が安心して居住できるとともに、市外からも興味を抱いてもらえる環境を構築し、関係人口や交流人口を創出し、市内人口を増加させることで賑わいにあふれるまちの形成をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の中心市街地である観音寺駅周辺のにぎわいを創出し、関係・交流人口増加を図るため、事業者、教育機関等との連携を通じてイベントの開催や情報発信、県外生徒の市内高等学校への就学支援等を行う。また、商店街を活性化するべく起業支援やマッチング、積極的な企業誘致を行い、同地域の経済基盤の強化・育成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 1.地域資源に係る魅力の創出及び発信に係る事業 ①当市が主体的にイベント等を開催又は市外で開催されるイベント等に参加して情報発信を行う。 2,924千円 ②地域おこし協力隊等との連携により、商店街等の魅力をあらゆる方面に発信する環境を構築する。 0(自主財源) ③地域ブランド認証品等地域産品の販路の拡大を図る。0(自主財源) ④観音寺市観光協会の体制を強化する。2,310千円 ⑤関係人口・ステークホルダーの増加を図る。961千円 2.商店街等の賑わいの創出に係る事業 ①商店街が行うイベント等に対し支援を行うとともに、空き店舗の有効活用を図るべく当該店舗での起業のための支援も行う。2,500千円 ②起業等に必要資格取得支援や店舗等の経営持続化のための支援、人材確保のためのマッチング等を行う。2,381千円 ③中心市街地及び当該地近隣への進出を促進するべく積極的な企業・店舗の誘致を行う。119千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	・本市観光地への入込客数 (82千人) ・「観音寺ブランド」認証の産品数(累計) (2件) ・当市及び観音寺市観光協会SNS公式アカウントにおけるフォロワー者数の合計 (1,370アカウント) ・市内高等学校への県外生徒受入者数 (34人) ・各商店街において営業する店舗数 (1軒) ・創業セミナー等に参加する創業者支援制度の利用者数 (11人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kanonji.kagawa.jp/soshiki/2/63625.html

事業概要：道の駅津田の松原リニューアル事業

新規

申請者	香川県さぬき市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	379,000千円 (379,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道路利用者や道の駅訪問者と地域の観光資源をつなぐ“ゲートウェイ”として重要な役割を担う「道の駅津田の松原」について、観光・交流分野の機能強化に向けた施設の規模拡大と既存施設のリニューアル工事を実施し、さらなる観光客の獲得と地域経済の発展を図るとともに、道の駅を来訪者と市内外の産業や資源をつなぐ“ハブ施設”としても活用することで、東讃地域及び県全域のにぎわいづくりや経済活性化による地方創生を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 道の駅整備 379,000千円 新築棟：建築工事・外構工事・機械電気設備工事・備品購入 改修棟：建築工事・外構工事・機械電気設備工事						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①津田地区における年間入込客数（+1万7,500人） ②年間売上高（+2,600万円） ③農業産出額（+1億円） ④新商品開発数（+10件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sanuki.lg.jp/shisei/gyoseiunei/seisakukeikaku/1/4339.htm

申請者	香川県小豆島町						初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,496,380千円(114,380千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓			
目的・効果	「モビリティ貸出施設」及び「通路シェルター」の拠点施設整備を通じて観光客等の受入環境改善を図るとともに、「新たな係留施設」を整備することで受入能力を強化し、拠点機能の効果を最大化することで、あらゆる船舶による来島機会の創出や海上交通から陸上交通へのスムーズな流れつくる。これら池田港の機能強化を通じて人流が拡大し、民間事業者による投資など周辺への波及効果生まれることで若者・女性などの働く場の創出と町民所得の向上に繋がり、「次代に夢をつなぐ持続可能なまちづくり」を実現させる。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たにモビリティのハブ機能を有する拠点や係留施設を整備するとともに、協議会設立などソフト事業を官民連携で実施し、港の活性化を図る。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 拠点やインフラによる池田港の利用促進、観光振興効果最大化 ・まち・みなとづくり協議会の設立 200千円 ・モビリティを活かした観光周遊ルート、観光コンテンツの検討 1,300千円 ・モビリティの周知啓発、利用満足度調査の実施 ・イベントの開催、新航路開設を目指した試験運航 ・ツアーの造成やPR活動によるクルーズ船等の誘致 ○拠点整備事業経費 陸上交通の充実、利用者の利便性向上に資するモビリティ貸出施設、通路シェルターの整備 ・モビリティ貸出施設整備 102,880千円（建設工事） ・通路シェルター整備 ○インフラ整備事業経費 新しい係留施設の整備による受入能力強化 ・係留施設整備 10,000千円（調査設計）								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①1人あたり旅行消費額（+7,123円） ②納税義務者の平均所得（+319千円） ③モビリティの年間利用件数（+4,000件） ④池田港の年間乗降客数（+25,000人） ⑤池田港の定期航路数（+1航路） ⑥池田港のクルーズ船の寄港回数（+15回）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.town.shodoshima.lg.jp/gyousei/kakuka/kikakuzaisei/4/sogosenryaku/8885.html

申請者	香川県小豆島町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	173,674千円 (168,674千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・高機能な宿泊・交流拠点を核に、オリーブや素麺等の伝統ある地場産品のブランド化を推進し、観光と連動した産業全体の付加価値向上を目指す。 ・「まちづくり会社（仮）」を中心に、地域内外の多様な主体とのビジネスを通じた販路開拓やノウハウ共有を行い、次代へ繋がる持続可能な地域経済の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市場調査で高く評価された小豆島ふるさと村の立地特性を活かし、高付加価値な宿泊機能と「まちづくり会社」による自立的運営体制を構築する。拠点施設を核に地場産品のブランド化を推進し、産業の付加価値向上を図るとともに、防災機能を備えた宿泊施設の整備により、観光と救護拠点を両立するフェーズフリー化を実現し、官民連携による投資呼び水効果とデジタル活用を通じ、持続可能な地域経済の拡大を目指している。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「まちづくり協議会」運営 200千円 ・観光周遊ルート等の作成（委託料）2,000千円 【拠点整備事業】 ・キャンプ場可動型拠点ユニット整備 152,240千円 ・キャンプ場内既存浴室改築 14,234千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①1人あたり旅行消費額（+7,123円） ②納税義務者の平均所得（+307千円） ③小豆島ふるさと村利用者数（+18,900件） ④小豆島年間宿泊客数（+44千人） ⑤観光に関する住民満足度（+7%） ⑥地元高校生の将来の帰島意向（+7%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shodoshima.lg.jp/gyousei/kakuka/shokokanko/8951.html

事業概要：商業・観光交流複合施設等整備事業

継続

申請者	香川県、直島町						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,907,000千円 (465,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	島で唯一のスーパーの移転とあわせ、日常生活や商業・観光交流、防災の中核となる複合施設を整備し、島民の生活環境の向上を図るとともに、宮浦港における新たな浮桟橋の整備や、複合施設内での島民と観光客が利用できる交流スペース等の整備、各施設の利用状況確認や予約申請、キャッシュレス決済ができる多言語対応のシステムの構築により、観光客数や移住者数の増加を図る。 島内外の多様な主体で構成するまちづくり組織を設立し、地域の産業や生活基盤に関する課題の解決、移住促進、観光資源の発掘等を行い、官民協働で「ひと」が煌めき 世界に輝く 直島町」を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 老朽化した地元スーパーを宮浦港ターミナル周辺エリアに移転し、島民の日常生活の基盤強化に加え、観光客の滞在・利用拠点、地域住民等の交流拠点、防災拠点の機能を備えた複合施設を整備する。あわせて、各施設の利用状況確認や予約申請、キャッシュレス決済ができる多言語対応システムを構築する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・多言語対応の公共施設予約システム、キャッシュレス決済導入に向けた調査4,000千円 ○拠点整備事業 ・実施設計 61,200千円 日常生活や商業・観光交流、防災の中核となる複合施設の整備を行う ○インフラ整備事業 ・港湾整備事業 浮桟橋製作 400,000千円 宮浦港における新たな浮桟橋の整備を行う							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①複合施設（スーパー等）の売上額（+65.5百万円） ②観光客等入込数（+20万人） ③係留バース利用隻数（+60件） ④複合施設における就業者数（+12人） ⑤移住者数（+12人） ⑥生産年齢人口比率（+0.3%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.naoshima.lg.jp/council/item/0f9218bdb1d84971befa58f67c2c1afc0e5ce5f1.pdf

事業概要：地域の魅力を生かした新しい人の流れの創出計画

継続

申請者	香川県宇多津町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,370千円 (10,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・町の特性を活かした魅力を高めることで、新たな交流、新しい人の流れをつくり、町の魅力、住みやすさを広く発信し、また来たい町から移住者・定住者の増加に繋げることを目指す。 ・「入浜式塩田」による製塩法に拘り、宇多津町の原点は塩であり、この製塩方法を継承していき、ブランド化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・宇多津町内全域および丸亀市の広範囲を周遊できるシェアサイクルを導入。観光客の利用に加え、住民の方々が車の免許返納後などの交通手段として電動シェアサイクルを活用できるよう支援していく。 ・「入浜式塩田」や郷土料理の伝承を目的に、浜持ち人の育成や小学生を対象とした料理教室などのイベントを実施し、宇多津町への愛着を育むとともに伝統の継承を図る。 ・古街の空き家をチャレンジショップとして活用し、創業を目指す方々を支援するとともに、空き家問題の解決にも取り組む。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】						
	○シェアサイクル導入事業 ・シェアサイクル住民利用研修会（委託料）2,100千円 ○伝統を継承するためのイベント事業600千円 ○古街を嗜む事業 ・古民家の利活用と創業支援3,000千円 ・夜の歴史探訪1,500千円 ・こめっせイベント事業3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①U I Jリターン数（+563人） ②観光客数（+14,200人） ③レンタサイクル乗車人数（+342人） ④創業支援・企業誘致（+152件） ⑤町内事業所数（+106事業所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.utazu.lg.jp

事業概要：畑田駅周辺整備事業

継続

申請者	香川県綾川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	381,108千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 畑田駅周辺整備事業を通して、地域住民の満足度が低い生活環境分野の改善を図ることにより、働く世代の居住地として恵まれた地理的条件を最大限に活かし、子育て世帯に選ばれる地域を目指す。 - 移動スーパーや防災活動を通じて、若者の地域参加意識の向上を図り、拠点施設が「若者が活躍できる場」となることで、世代間・地域間のつながりが生まれ、より魅力的で持続可能な地域となり、「誰もが住みたくなるまちへ」を実現させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 畑田駅周辺整備事業を通じて、交通の利便性向上や子育て世帯が求める親子で気軽に遊べる場の提供など、生活環境の改善を図ることにより、働く世代の居住地として非常に恵まれた地理的条件を最大限に活かすことができ、若者や女性に選ばれる地域を目指す。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業経費 幹線道路及び畑田駅から拠点施設へのアクセス道の整備 ・事業費 50,000千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①畑田地区の転入者数（+13人） ②交通事故の減少件数（-4件） ③畑田駅利用者数（+800人） ④畑田地区の自治会加入率（+0.2%） ⑤移動スーパー利用人数（+480人） ⑥町営バス乗降客数（+480人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.ayagawa.lg.jp/docs/2025012000013/file_contents/202503kaigiroku.pdf